

## 1994年(平成6年)阿嘉島臨海研究所の1年間の動き

### 主な利用者と研究課題等

- 2月 座間味村産業祭りで阿嘉島臨海研究所の活動内容を展示紹介
- 3月 「ヒドロ虫類の系統分類学的研究」久保田 信 (京大・瀬戸臨海実験所)  
「阿嘉島におけるシロレイシガイダマシ類の生態」下池和幸が東海大学沖縄地域研究センター研究発表会(石垣島)で発表
- 4月 「屋嘉比島の動物相を中心とした調査」十脚甲殻類調査: 野村恵一 (串本海中公園センター)  
ウミガメ類産卵調査: 平手康市 (沖縄県水産業改良普及所) ほか  
「阿嘉島におけるミドリイシ属サンゴの一斉産卵と水温の関係」林原 毅が日本海洋学会春季大会(大宮市)で発表
- 5月 「ミドリイシサンゴの異種間交配実験」「ミドリイシサンゴの遺伝子解析」杉山 勉・服田昌之・王文樵 (国立遺伝学研究所): 阿嘉島臨海研究所との共同研究 (6・8月にも実施)  
「サンゴ礁内における富栄養化物質の動態」青木豊明 (大阪府立大学): 阿嘉島臨海研究所との共同研究 (7・8・10月にも実施)  
「サンゴの産卵撮影」伊藤勝敏ほか
- 6月 「ソフトコーラルの産卵に関連する化学成分の抽出」内尾康人 (鹿児島大学医療技術短期大学部): 阿嘉島臨海研究所との共同研究  
「造礁サンゴの炭素同位体比および放射性核種濃度の分析」立田 穰 (電力中央研究所)  
「サンゴ群集の極相に関する研究」山城 篤・木村文生 (沖縄環境分析センター)  
「造礁サンゴの生殖・発生に関する研究」柿沼好子 (鹿児島大学) ほか
- 7月 「屋嘉比島の動物相を中心とした調査」ケラマジカ調査: 伊澤雅子ほか (琉球大学)・遠藤 晃 (九州大学)、鳥類相調査: William Beckon (琉球大学)、魚類相調査: 吉野哲夫 (琉球大学)・島田和彦 (沖縄県)、ウミガメ類産卵調査: 亀崎直樹 (京都大学)・平手康市 (沖縄県水産業改良普及所) ほか、ヘビ類の捕食行動: 森 哲 (京都大学) ほか  
阿嘉小中学校にて、阿嘉島臨海研究所主催の移動教室「マリンスクール」実施
- 9月 「サンゴと赤土汚染の調査」大見謝辰男 (沖縄県公害衛生研究所)  
「造礁サンゴの石灰化に関する研究」池田 穰 (ハザマ技術研究所)
- 10月 「ケラマジカの生態調査」伊澤雅子ほか (琉球大学)
- 12月 「ソコサクラエビの生態調査」大森 信 (東京水産大学)

### その他の主な来訪者

阿部正男・荒井憲一・堀口彰一・丸山仙子ほか (科学技術庁)、伊集院宗昭ほか (科学技術庁放射線医学総合研究所)、橋本和正ほか (水産庁西海区水産研究所)、豊島亮一ほか (琉球放送)、高橋拓也 (沖縄タイムス)、農崎慶吉ほか (NEC)、上谷和照ほか (SONY-PCL)、横井謙典 (ブルートライ)、玉那覇靖ほか (沖縄県企画調整室)、Konstanze Beck (ミュンヘン大学)、瀧川哲夫ほか (沖縄開発庁)、與儀九英ほか (座間味村)、新田末広 (シーカム)、伊藤邦彦 (ピーカン)、板垣雅和ほか (日本シネセル)、飯山泰之・飯田泰久ほか (科学技術庁)

### AMSL 刊行物

「みどりいし」No.5、「アムスルだより」Nos.5~10